

# 水のEXPOに出展

## 管更生装置を拡販へ

日本システム企画

日本システム企画(本社・東京都渋谷区、熊野活行社長)が製造・販売している建物内配管の更生装置「NMRパイプテクター」の設置実績が急速に増大している。

同装置は既存の建物の赤錆で劣化した給水・給湯管、空調冷温水管の外部に設置して、配管更生に使用されているが、地中に埋設されている水道事業の給配水管にも同様の効果があ

り、費用も安く、給・配水管の劣化対策としても適しているという。

こうしたことから同社では同装置を十八日から二十

二日まで大阪市のインテックス大阪で開かれる世界水フォーラム関連行事「水のEXPO」の「水とくらし」展示会に出展、水道関連業界等幅広い分野に販路を拡大していく。

水道事業の給・配水管での設置実績はまだないが、導入検討中の事業体はあるという。ある事業体では三

百メートルの工業用水用の配水管を二キロ取り替えたところ、約二十億円の費用がか

かった。「NMRパイプテクター」であれば、一千六百万円程度で設置、管更生

ができるという。

同装置の原理は病院の断層写真撮影用MRIにも利用されている核磁気共鳴(NMR)の原理を防錆に

応用したもので、配管の外部に設置し、赤錆を流出させずに黒錆に還元して管を

更生させる。

管径十三ミリから二千ミリまでのすべての管種に対応。外部エネルギーを必要としないため、いったん設置し

たらランニングコストもメンテナンスも不要。

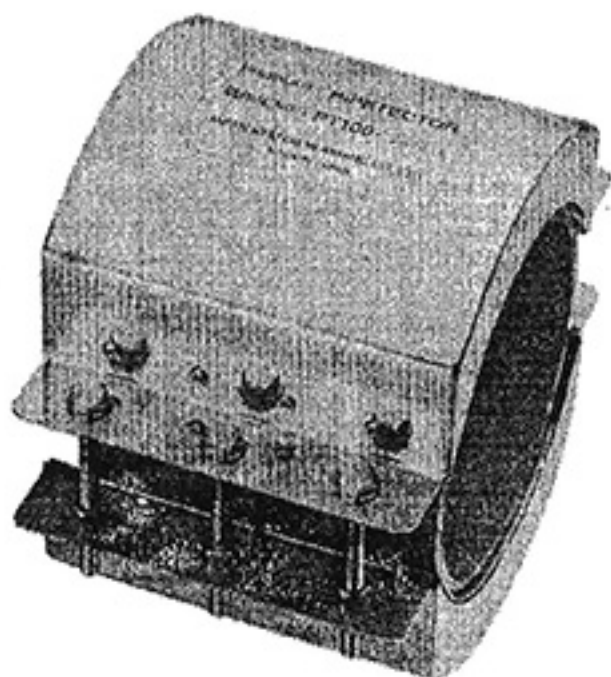
これまでの行政関連施設での実績は、日本赤十字社

広尾医療センター、北海道工業試験場、農水省関連団

体施設、県警関連施設、自衛隊関連施設、教育機関な

どに設置、すべての建物で赤錆の黒錆化による管更生

効果を実証している。



設置の急増するNMRパイプテクター